

清高ミニタイムス

清高ミニタイムス
北海道清水高等学校
新聞局
発行責任者
泉谷 つばさ

系列授業を体験

進路へ向けて学ぶ1年生



5月17日(金) 2時間目に1年生の産業社会と人間の時間に3年生の系列授業見学が行われた。

人間生活系列では3年生が1年生に、オクラホマミキサーとジェンカという定番のフォークダンスを教えた。佐藤和皇君(1A)は「何やってるかよくわからなかった」と語るが、堅い表情だった1年生達も最後には笑顔を見せていた。菅野愛さん(3C)は「初めてフォークダンスをやって楽しかったし、1年生に教える時は緊張したけど楽しめた」と語る。菅野さんによれば、系列のアピールポイントは「介護の知識や、人との接し方が学べる系列で科目の中にスポ

ーツも入っているのをおすすめ」とのことだ。(文責 坂本 栞菜)

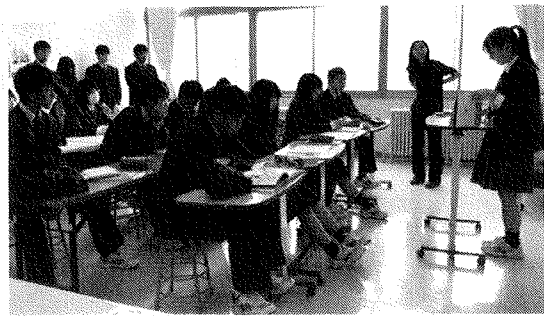
情報ビジネス

情報ビジネス系列では広告と販売促進についての授業だった。営利組織と非営利組織の違いや、日常にある広告について詳しく学習していた。3年生がパソコンに授業内容をまとめる姿を見て、堀愛奈さん(1D)は「文字打ちが大変そう」と語った。高口実紅さん(3B)は「パソコンが元々苦手だったけど、2年間もやっていればお手の物。資格もいっぱい取れるし焦らず頑張って欲しい」と自身の経験をふまえ1年生へのメッセージを送る。また桂田芽依さん(3

B)は「あまり系列らしい授業ではなかったけど、普段の雰囲気伝わっていただけたと思う。ワードやエクセルを使う授業があるので、より深く学びたい人は是非情報ビジネス系列へ」とアピールした。(文責 泉谷 麻衣)

自然科学

自然科学系列の化学の授業では割り箸の炭化とポリエチレンからのエチレン発生の実験が行われた。見学していた1年生は「先生の説明が少ないうちに生徒だけでしっかりと成功して凄い」と話した。その他「とても楽しそうだったので先生の授業が分かりやすそうだった」という感想が聞かれた。(鈴木



人文・自然

生活と福祉の授業では各自で障害について調べ、それを発表するという内容であった。ADHD、LDなど様々な障害や、その障害を持つ方への接し方などを調べ各々の意見や感想を述べていた。相澤琴也君(3B)は「1年生が見学に来ることを考えていなくて緊張

した科目選択の時あまり考えず選択したが、いざ学んでみると障害のことや系列に入らないと分からないことが知れるし、授業が面白い」と語った。見学をした1年生からは「どの系列も楽しそうで参考になった。まだはつきりと決まったわけではないけど、今日見聞きしたことを元に決めたい」と

という声が聞かれた。(文責 西村 祐希奈)

生産技術

生産技術系列産業分野では十勝若牛アスパラまつりに向けて多肉植物を置く台を作成する様子や、アーク溶接で鉄が溶接される様子、タイヤ交換などを実際に目の前で実践した。今回の系列体験に

ついて青山和広君(1B)は「普段あまり使ったことないものを使いながらものを組み立てていて楽しそうだと思った。自分もやってみたい」と語った。1年生に説明した中村玲士君(3C)は「伝えるのが難しかった。産業に入りたと言ってくれた人がいて嬉しかった」と笑顔で話した。(泉谷)

高体連結果

女子バレーボール部

女子バレーボール部は、帯広三条、帯広農業に敗れ予選敗退となった。

今まで人数の少ない中、練習試合や辛い練習を乗り越えて笑顔で楽しみながら練習できた。キャプテンの児島沙也加さんは、後輩へ向けて「1・2年生がいなかったら大会にも出場することができな

後輩に想いを話す

かったので感謝している。楽しい部活が終わってしまったと思うと寂しい。この先どうなるかはわからないが、悔いの残らないようにしてほしい」と語った。(文責 松田 優)

弓道部

弓道部は5月24日

(金)に帯広の森弓道場で行われた高体連支部大会に男子4名が参加し、団体予選で8中(48射中)で敗退した。個人戦では部長の平田拓也君が

4中(12射中)で全体の22位が最高だった。平田君は試合を終えて「決勝には行けなかったが、悔いの残らない大会にできたのでよかった」と語った。さらに後輩へ向けて「一人しか居ないけれど頑張ってほしい。後輩が入ったら教えられるようにしてほしい。」と語った。(鈴木)

サッカー部

5月23日(木)にサ

ッカー部の高体連十勝大会が行われ、1回戦で江

陵・幕別清陵高校と戦い3対4で敗れた。前半の入りがよく開始10分までに2点を決めることが出来たが、集中力が続かず前半のうちに追いつかれた。後半に入り逆転を許してしまうが、その後なんとか食らい付き、終了5分前に同点弾を決め追いつくことができた。だが、後半のアーディショナルタイムに勝ち越しを許し試合は終了した。(文責 久保田・二瓶)

5月23日(木)に白

帯女子バスケ部

友太君(2A)は「皆で協力して頑張る」と決意を語った。(文責 馬場・二瓶)